

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学9							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
柔道整復学科・夜間部	3年	2期	鴨田 佳典			○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復術では損傷の経過や患部の所見に合わせて適切な損傷の評価と後療法を実施しなければならない。基礎となる解剖学的視点から骨損傷を理解し、外傷保存療法に必要な臨床知識を学ぶ。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師で取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えるため、骨損傷を中心に係わる物理療法機器の取り扱い及び柔道整復術適応の臨床的判定の知識を身に着ける。						
	<b>到達目標(SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 関連する解剖学的知識を選択できるようにする。 2. 物理療法機器の取り扱いを選択できるようにする。 3. 物理療法機器の意義・効果を選択できるようにする。 4. 柔道整復術適応の臨床的判定を選択できるようにする。					
履修に必要な予備知識や技能							
これまで勉強してきた各骨折における特徴、後療法の総復習であるので、解剖学が基礎となる							
教科書・参考書							
柔道整復学・理論編 第6版							
受講上の注意							
不明な点は、授業内でも授業外でも構わないので適宜担当教員に確認してください。 授業に必要なものは、必ず授業前に準備をしておいてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	鎖骨・肋骨骨折 4択問題の選択			p.220～225 p.193～197	教科書・筆記用具		
第2回	上腕骨近位・骨幹部骨折 4択問題の選択			p.233～239 p.256～262	教科書・筆記用具		
第3回	上腕骨類上骨折、前腕近位部骨折 4択問題の選択			p.266～274 p.274～279	教科書・筆記用具		
第4回	前腕骨幹部骨折、前腕遠位部骨折 4択問題の選択			p.288～299 p.306～312	教科書・筆記用具		
第5回	手部骨折 4択問題の選択			p.313～318 p.328～332 p.334～339	教科書・筆記用具		
第6回	大腿骨近位部骨折、大腿骨骨幹部骨折 4択問題の選択			p.358～366 p.378～380	教科書・筆記用具		
第7回	膝蓋骨骨折 4択問題の選択			p.399～400	教科書・筆記用具		
第8回	下腿部骨幹部骨折、下腿部遠位部骨折 4択問題の選択			p.413～420 p.426～431	教科書・筆記用具		
第9回	足部骨折 4択問題の選択			p.432～436 p.447～449	教科書・筆記用具		
第10回	試験						
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院に勤務。医療機関での実務経験をもとに話をします。							
メールアドレス							
kamoda@nihonisen.ac.jp							